

## 「さっぽろスカイレイクトレイル」リーフレットの制作について

山のトイレを考える会 事務局長 仲俣善雄

### 1. 空沼岳～札幌岳縦走路登山道整備について

2019年11月に開催した北海道山岳団体交流会にて、廃道化した空沼岳～札幌岳縦走路の登山道復活が提案された。2020年に整備すべく検討、準備していたが、コロナ感染が拡大、2022年まで中止となった。

2023年に7団体で構成した「札幌登山道整備連絡協議会」（代表 佐藤 眞）を設立、2024年の整備に向け打ち合わせを繰り返し準備した。

〔札幌登山道整備連絡協議会の構成団体〕

道央地区勤労者山岳連盟・札幌山岳連盟・日本山岳会北海道支部・  
北海道山岳スポーツクライミング連盟・北海道山岳ガイド協会・  
札幌登山道整備隊（S T S T）・山のトイレを考える会

### 2. 2024年～2025年の整備状況

2024年には全線開通。2025年はさらに丁寧に整備をして登山者は歩き易くなった。

2025年には助成金を獲得、アウトドア会社からの寄付金もあり、刈払い機、剪定鋏、燃料等も購入できた。

笹刈りの労力は全てボランティアで実施している。

### 3. リーフレットの制作について

登山者が歩けば、その踏み圧で登山道が安定する。少しでも多くの登山者に歩いてもらうため、PR用リーフレット制作、配布することにした。

登山道のネーミングを検討、美しい3つの沼を巡る登山道であることから「さっぽろスカイレイクトレイル」とした。

リーフレット制作は山のトイレを考える会で担当し、2025年9月に完成した。中央バスは2024年10月に空沼岳登山口までの運行を廃止したが、途中まで公共交通機関を利用する万計山荘一泊のモデルコースを掲載、裏には縦走路のマップを掲載した。



支笏湖ビジターセンターの配備

### 4. リーフレットの配布について

協議会構成団体等への配布、アウトドア店・万計山荘・支笏湖ビジターセンター等に保管ケース付きで配備。また各種山岳団体のイベント等でも配布した。

2026年の夏期シーズンに向け、さらに配備箇所や機会を増やし、積極的にPRしていきたい。